

Sanseki Gakuen College of Music Flute Orchestra Concert

フルートオーケストラ演奏会

M.アーノルド／第六の幸福をもたらす宿

C.P.E.バッハ／フルート協奏曲 d-moll

I. Allegro : 清水涼花 (3年)

II. Un poco andante : 小牧 茄央里 (4年)

III. Allegro di molto : 福井麻菜 (3年)

E.セジヨルネ／ヴィブラフォン協奏曲

ヴィブラフォン : 協坂詩織 (4年)

G.ガーシュイン／歌劇「ポギーとベス」より

2020年11月25日(水)

19:00開演(18:30開場)

洗足学園 前田ホール



指揮 瀬尾宗利

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

■曲目解説

■第六の幸福をもたらす宿／M.アーノルド

The Inn of the Sixth Happiness // Malcolm Henry Arnold(1921-2006)

マルコム・アーノルドは、映画音楽や交響曲など様々な音楽を作曲していたイギリスの作曲家であり、作曲家としてデビューする前にはロンドン・フィルハーモニー管弦楽団の首席トランペット奏者としても活躍していた。

「第六の幸福をもたらす宿」とは、彼が音楽の政策を担当した映画であり。1958年にイギリスのアラン・パーージェス原作の小説「小柄な婦人」に基づいて制作された。

今回の演奏で冒頭に出てくるテーマは、主人公がロンドンのヴィクトリア駅に到着した場面に登場する音楽である。新たな生活に臨む主人公の希望や緊張などを表した「決意のテーマ」である。後半では、小太鼓のドラムマーチが子供たちの足音を奏で、イギリスの童話「ジス・オールドマン・テルズ・アス・オール・イズ・ウェル」をピッコロが奏で始め、それに続きフルート、アルトフルート、そしてフルートオーケストラ全体で奏で、ハッピーエンディングでクライマックスを迎える。

3年 大木 史佳

■フルート協奏曲／C.P.Eバッハ

Flute Concerto d-moll // Carl Phillippe Emanuel Bach(1714-1788)

C.P.E.バッハはドイツの作曲家。J.S.バッハの次男として生まれた。

父よりも、テレマンの作曲様式を受け継ぎ、ギャラント様式や多感様式を研究し、古典派音楽の基礎を築き、後の古典派を代表する作曲家ベートーヴェンらに影響を与えた。

今回演奏するフルート協奏曲ニ短調は、彼が書いたフルート協奏曲6つのうちで最も良く演奏される1曲である。多感様式で知られる彼の書く、次々と移り変わるハーモニーや間の使い方、強弱変化によって感じることの出来る、人間の感情の急激な変化の様な魅力をお楽しみ頂きたい。

第1楽章 Allegro 2/2 拍子 ニ短調

印象的なテーマで始まり、情熱的になったと思えばエレガントになったりと、ドラマチックなハーモニーの展開が見られる。テンポやアーティキュレーション等で演奏者によって違う印象になりやすい。私なりの、男性的で力強い音楽と、女性的でしなやかな音楽の両面を表現したい。

3年 清水 涼花

第2楽章 Un poco andante 3/4 拍子 ニ長調

この楽章は重厚感があるオーケストラから始まり、それに導かれるようにソロフルートのたっぷりとした旋律が奏でられていく。極めて叙情的でありながらも、シンフォニックな充実感あふれる曲である。

楽章最後にカデンツァがあるが、これは演奏者自信が作る場合が多く、今回も自作のカデンツァを演奏する。

4年 小牧 菟央里

第3楽章 Allegro di molto 2/2 拍子 ニ短調

快速で勢いのある疾風怒濤の楽章である。情熱的な出だしから始まり転調を繰り返し、長調になると軽快な音楽が繰り広げられる。テンポは緩むことなくそのまま最後まで走り抜け曲は幕を閉じる。フルートオーケストラならではの細かいパッセージや疾走感にも注目して聴いて頂きたい。

3年 福井 麻菜

■ヴィブラフォン協奏曲／E.セジュールネ

Concerto Pour Vibraphone et Orchestre à Cordes // Emmanuel Séjourné (b.1961)

エマニュエル・セジュールネはフランスの打楽器奏者、作曲家、教師である。

本作品は2つの楽章で構成されている。

第1楽章はゆったりと静かな伴奏が流れる中、ビブラフォンは弓を用いて空気のように自然と現われる。そしてレチタティーヴォのようなソロとなり、再び弓を用いて終わる。

第2楽章は1楽章とはかけ離れた音楽で、高度な技術を必要とする。全体的にスピード感がありリズムミックだが、途中、不協和音や特殊奏法が用いられる。

フルートが伴奏ならではの、美しいサウンド上でのビブラフォン・コンチェルトをお楽しみ頂けると幸いである。

4年 脇坂 詩織 (打楽器)

■歌劇「ボギーとベス」より／G.ガーシュウィン

Suite from "PORGY and BESS" // George Gershwin(1898-1937)

ジョージ・ガーシュウィン / ボギーとベス

・Introduction – Jasbo Brown Blues – Summertime／サマータイム

・A Women Is A Sometime Thing／女は一時の慰みものさ

・I Got Plenty O'Nothin'／くたびれもうけ

・Bess, You Is My Women Now／ベス、お前は俺のもの

・Oh, I Can't Sit Down／おいらはないものだらけ

・I Loves You, Porgy／アイ・ラブ・ユー、ボギー

・Oh Lawd, I'm On My Way／おお主よ、出発します

ジョージ・ガーシュウィン (1898-1937) はアメリカで活躍した作曲家である。ポピュラー音楽とクラシック音楽の両面で活躍しアメリカ音楽を作り上げた作曲家として知られている。代表曲である「ラブソディー・イン・ブルー」はジャズの感覚と技法をクラシック音楽に取り入れており、「シンフォニック・ジャズ」の代表的な成功例として世界的に評価された。

『ボギーとベス』は1925年に作家デュボース・ヘイワードの書いた「ボギー」という小説を原作にし、黒人コミュニティの生活をリアルに描いたフォーク・オペラである。1935年に全て黒人キャストで初演されたが、初演時の反響は得られなかった。現在では評価が高まり、アメリカ音楽の古典となっている。黒人霊歌やジャズの要素をクラシックに融合したガーシュウィンらしい魅力にあふれ、現在のミュージカルの原点ともいえる作品である。劇中にある「サマータイム」はポピュラー音楽として親しまれている。

4年 村松 紀親

■出演者プロフィール



瀬尾 宗利 (指揮)

1967年、つくば市生まれ。文教大学教育学部音楽専修卒業。指揮を大友直人、堀俊輔、クラリネットを佐川聖二、黒尾実、作曲を柳田孝義の各氏に師事。現在、全国各地で吹奏楽をはじめ、オーケストラや合唱の指揮者、指導者として活躍中。また、吹奏楽曲の編曲も手掛けており、アーノルドの「第六の幸福をもたらす宿」(ロケットミュージック)や「交響曲第五番」(Novello)、ラフマニノフの「交響曲第二番」(CAFUA)など、多数の作品が幅広く全国の吹奏楽団で演奏されている。

■Flute Orchestra Member

【4年】 甲斐 真琴 加藤 美咲 瀬川 結未 谷野 菜月 西山 侑里
前原 衣杏 間木平 美和 村松 紀親 小牧 茄央里 佐藤 亜紀

【3年】 朝日 一輝 大木 史佳 岡本 大志 川野 真奈 小林 千夏
清水 涼花 谷口 愛海 福井 麻菜

【2年】 梅崎 真綾 北山 莉来 酒井 瑠菜 榊原 里来 佐野 鈴菜
清 友菜 園田 凧琉 田嶋 智翠 土持 志織 中川 彩
町田 花音

【1年】 石川 裕葵 菅野 真結子 行徳 ほのか 鈴木 彩良

【Flute 賛助】 府川 悠理(院1年) 山崎 春奈(院1年) 吉村 由望(院1年)

【Percussion】 半田 柊成(4年) 脇坂 詩織(4年) 入江 美咲(2年)
江原 和紀(2年) 大石 水紀(2年) 小野寺 俊介(2年)
中嶋 遼(2年) 中田 実紅(2年) 星 陽華(2年)

【Contrabass】 本橋 和樹#

#…演奏補助要員

企画運営責任者：岩花 秀文

指導教員：岩岡 一志 上野 由恵 斎藤 和志 中村 祐子 渡部 亨

助手：城野 裕子

Academic Coordinator：平峯 章生